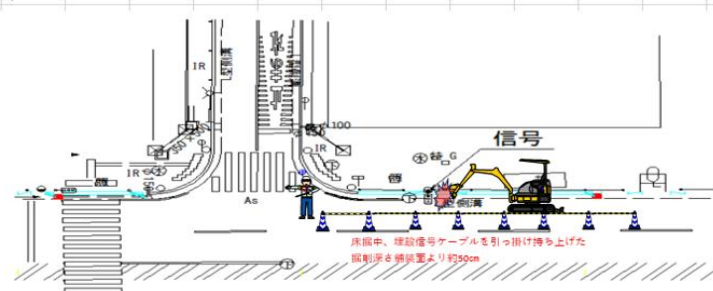


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和7年6月26日(木曜日) 10時 15分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	信号ケーブルが入線されている保護管の損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路掘削作業						
事故概要	L型側溝を撤去し、バックホウで床掘作業中、浅く埋設されていた保護管に入った信号ケーブルがわからずバックホウの爪を引上げた際、保護管ごと引っ張り上げ保護管に損傷をあたえ、押しボタン式信号が停止したもの。						
事故原因	床掘箇所歩道内に、信号機の操作盤があることは認識していたが、信号ケーブルの埋設管は深く埋設されているだろうと思い作業をした。 また、バックホウでの床掘時、床掘確認者を配置していなかった為、埋設管の確認ができなかったことも原因の一つである。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前に、支障となる構造物がある場合の作業手順や注意点の確認を徹底する。また、埋設物がある周辺の作業は人力での施工を徹底する。 ・作業再開日迄に、地下埋設物及び敷設ケーブルに対する再発事故防止対策として、埋設位置がわかるように道路にスプレー明示することを徹底する。 ・地下埋設物に近接箇所で、重機による床掘の場合、必要に応じて床掘状況確認者を配置するよう徹底する。 						

事故状況図

事故状況図 (概要図)



改善状況図

